



中野区議会議員 無所属

佐藤ひろこ

うさぎだより

[事務所] 〒164-0001 東京都中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107

[区議会] 〒164-0001 東京都中野区中野4-8-1 市民自治控室 TEL.3228-8874

http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail: usagidayori@hotmail.com

編集:住民自治をすすめる会 発行:市民自治

立ち直ってきた中野の財政

	減らした借金 区債残高	増やした貯金 財政調整基金
1999年度	806億円	176万円
2001年度	705億円	29億3百万円
2004年度	618億円	75億5千万円

福祉のための改革を

佐藤ひろこの一般質問 (第3回定例区議会(二〇〇五年九月一〇月))

寒くなりましたが、いかがお過ごしですか。同封の「市民自治の風を」の内面に、ようやく具体的に出された施設再配置案を地図上にまとめてみました。区の方かりにくい文章からこの地図をつくるのに大変苦労をしました。従来の施設配置や運営を変える提案ですが、これからの子ども達に借金という負の遺産を背負わせないために、誰かが泥をかぶって行なわなければならぬ、中野区に必要な改革だと考えています。ご意見、ご提案をお寄せください。

- 1、田中区政の最大の目標「財政の立て直し」はどのような成果をあげてきたのか。
- 2、行財政改革を行う目的は将来にわたって持続可能な社会を構築し、地域福祉の充実をはかることであり、福祉のための改革だと考える。この3年間の行財政改革は、地域福祉の充実にとどのように寄与しているのか。(1と2の答弁は「市民自治の風を」を参照)
- 3、地域福祉を推進するために、公共サービスを担う区民団体等を活性化し、区民が主役の「区政へ」改革を進めることが必要だが、どのように検討されているのか。

答 区民の公益活動の推進に関する条例を検討している。

4、ひきこもりや虐待など新たな問題も含めた子どもへの支援はとりわけ重要だ。全国初の地域NPO立の児童館、大田区子ども交流センターを見学しお話しも聞いた。児童館を地域団体で運営することや、学校施設の有効利用が子ども達の支援に効果をあげている。中野区でもこのように子ども支援の場の拡大を進める必要があるがどうか。

答 遊び場機能の小学校への導入や乳幼児親子の居場所づくりなど、子ども支援の場の拡大をはかっていきたい。

災害弱者の避難対策を

阪神・淡路大震災は高齢化と都市化が急速に進んだ社会が直面した初めての大災害だった。死者のうち70歳以上の高齢者が三分の一を占め、中でも高齢女性の割合が多かった。倒壊家屋の多くが古い木造住宅で、一人暮らしの高齢女性が多く住んでいたこと、体力的に迅速な避難行動がとれなかったことなどが原因とされている。今回の中野区の水害でも、このような危機的状態に高齢女性がおかれていることが被災状況の聞き取りに現場を歩く中でわかった。

1、支援が必要な高齢者や障がい者を救うために、非常災害時救援希望者の登録制度があるが、震災時には安否確認がたいへんむずかしくなること

が予想される。災害弱者に対する素早い情報伝達と安否確認体制を構築する必要があると考えるがどうか。

答 元気でネットのしくみや関係者との連携による効果的な体制づくりを検討したい。

2、震災時介護が必要な人は第一次避難所の学校から第二次避難所の高齢者会館等へ誘導されることになっているが、はじめから第二次避難所に避難するようにできないか。

答 はじめから第二次避難所を開設すると大掛かりな体制を必要とするのでむずかしい。

障がい者雇用等を実現する入札制度を

区が行なう入札参加登録時に、障がい者や高齢者の雇用率などを審査項目に加え、指名の判断基準として考慮することを検討するとのことだったが、障がい者や高齢者の働く場の拡大のために、どのように制度を検討されたのか。

答 入札時の選定基準の一つに高齢者や障がい者の雇用率を加えるよう制度を整備する。

戦略計画と行政評価

1、10ヵ年計画は、従来の基本計画と作り方が異なる。戦略計画」といって説明が足りない。中野区は未曾有の財政難という穴に落ちた。状況の変化に応じて作戦を変え、穴からの脱出に向かう手法が戦略計画

であると考える。従来の計画とどう違うのか区長の考えを示すべきだ。

答 PDC Aサイクルの中で事業の見直しをすすめ、柔軟な施策展開により目標達成をめざす計画である。

2、中野区は行政評価システムでは全国の自治体の先陣をきっているが、まだ改善すべき点がある。区民が期待を持って描ける成果指標の設定が不十分と思うが、どうか。

答 わかりやすい成果指標の設定に努力する。

3、さらに客観性・公正性が担保できる評価をめざして、職員や区民にも行政評価の意義や手法についてさらに学ぶ場を用意してはどうか。

答 研修などの機会を充実させた

北川正恭 早稲田大学院教授・前三重県知事・田中大輔 中野区長 トークセッション

自治体改革最前線

中野発「変える」から「創る」へ

日時 12月16日(金)午後6時50分～8時50分

会場 中野サンプラザ 8階 研修室1

参加費 500円(事前予約制)

主催 市民自治政策研究会

申し込みは佐藤ひろこまで TAL 3368-9107

心配なこと

障害者自立支援法が国会で可決してしまつた。サービスの支給時間などを決める審査会がもうけられたり、自己負担が発生したり、大きく仕組みがかわる。国からの補助金などが少なくなる中で、自治体は大変になりそう。次の議会での対応を質問する予定。

良くなったこと！

* 区の職員手当を見直し
中野区の職員の特殊勤務手当を、ほんとうに特殊な仕事に対する手当を除いて全廃する条例改正が可決。
* 住民基本台帳の大量閲覧を制限する条例制定
3月議会で消費者被害も引き

起こしている住民基本台帳の大量閲覧を制限するように質問した。やっと営利目的の閲覧を制限する条例が制定された。
* 国勢調査でプライバシー保護
封入提出ができるようにと質問してきたが、中野区は今回から、国勢調査表を全部封入提出できるようにした。全部封入提出方式にした自治体は全国的にもまだ少ない。

ホームページの日記から

8月18日

地域施設は地域の力で
区民の方々と、大田区の「こらぼ大森」区民活動支援施設を見学。元小学校舎をさまざまに活用し、地域の人達でつくる協議会が運営している。その一つ子ども交流センター（児童館）は、町会長が代表となり、子ども支援を行なっている人達も参加したNPO、おもしろ子どもセンター」が運営し、児童クラブも行なっている。当初は保護者等から大きな反対運動

が起こつたが、子ども達が喜んで通っている姿を見て親の気持ちも変つてきたそう。地域の人が自身で運営することが、まさに自治だとNPO理事の方は話していた。

9月3日

イラクの人々は今
「アラブの子どもとなかよくなる会」の西村陽子さんにお話しを聞く会を行なった。劣化ウラン弾による放射能被害で白血病に苦しむ

イラクの子ども達に、薬を届けたりする支援を行なっている。やっと運び込んだ3箱の薬は100万円のカンパで買ったもの、その横を走る戦車が3億円、それだけのお金が薬に回れば多くの子ども達が助かると言う。自衛隊が来てから日本人に対するイラクの人達の視線が厳しくなつたそう。今イラクの地に入ることは大変危険で、ヨルダンまでしか行けないそう。西村さんはまた、日本の子ども

佐藤ひろこの活動日記から

8月

- 18 大田区区民活動支援施設「こらぼ大森」見学
- 24-26 鳥取県自治体学会参加・DV防止の取り組みを視察
- 31 外部行政評価委員会傍聴

9月

- 1 女性相談に関わる方々との会
- 2 臨時議会
- 3 「イラクの人々は今」報告会
- 5 集中豪雨被災状況見回り・防災対策特別委員会傍聴
- 8 中野駅周辺整備・交通対策特別委員会
- 9 広島原爆ドームなど訪問
- 10 岡山NPOセンター訪問
- 11 学習会「NPOと児童館運営」
- 12 東部国際交流会・総務委員会
- 15・16 水害の被害状況聞き取り調査に歩く
- 17・18 立教大学院ゼミ合宿
- 18 中野ZEROダンスライブ
- 19 水害の被害状況聞き取り調査に歩く
- 21・22 本会議（佐藤ひろこ一般質問）
- 23 あしば祭
- 26 本会議
- 27-30 決算特別委員会
- 28 国際福祉機器展見学



達の絵や、私たちのカンパを持ってヨルダンに行く。

9月5日

豪雨で大きな被害
お見舞い申し上げます
昨夜、鷲宮での1時間あたりの最大雨量は104ミリ。妙正寺川や神田川沿い、東部地域など水害がおきたところを見て回った。8月15日も1時間あたり124ミリの記録的な豪雨が降り妙正寺川があふれた。被害にあわれた方々から抜本的な対策を要望される。

9月15・16日

被害の聞き取りに歩く
水害にあわれた地域の被害状況や要望を、服部議員とあらためて聞き取りに歩いた。家の外にいらした高齢の女性に声をかけると、10日もたつのに区から被害状況の調査もなく濡れた畳の部屋で寝ていらした。さっそく区に連絡した。避難勧告が聞こえなかった。避難場所がわからない。高齢で濡れた畳が上げられない。ボラ

ンティアアがほしかった。一人暮らし高齢者が厳しい状況にたたされていることがわかった。

10月13日

警大跡地新しい
土地利用転換計画
防災公園を中心に3、4ヘクタールの緑地空間を確保した避難場所と大学の誘致などを盛り込んだ、警大跡地の新しい土地利用転換計画が、8月末、杉並区や東京都と合意され国との協議に入っている。警察病院は3年後開院予定で、災害時医療拠点の役割も持つ。警大跡地関係の陳情を採決。
防災公園や緑を求める陳情は全会派一致で可決。計画の延期を求める陳情は反対で否決。区民参加や跡地見学を求める陳情は賛成したが賛成少数。

10月13日

本会議で
昨年度決算が可決
徹夜で書いた賛成討論をした。新しく区長を出して以来、どん底の財政難が

決算賛成討論から抜粋

中野区の合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に生む子どもの数）は、30年前は1.47でしたが、昨年度の出生率は0.75と、半分に減少しました。出生率の低下は全国的な傾向です。この数字の変化を見るだけでも私たちの区も国も、今まで経験したことのない人口減の時代に突入していることがわかります。今までと同じやり方

では、もう区民サービスは維持できないと思います。これからの子ども達のためをほんとうに考えるならば、区民自身が地域サービスの担い手となり、多様で豊かな公共サービスが展開できるように、仕組みをつくり、行政のあり方も変えていかなければならないと考えます。

ら立ち上がるために苦勞続き。でも少し好転の兆しが見えてきた昨年度決算。借金を少し減らすことができ、底をついていた貯金をこれからのために少しずつ増やすことができた。基本構想を改定し自治基本条例も制定した。変えるということはいよいよ大変。



区民の人たちと、早稲田にある、私たちの戦争と平和資料館を見学。戦時性暴力の被害と加害の資料を集めた日本初の資料館。慰安婦被害者のパネルなどが重く胸につきささる。

傍聴してね！

第4回定例議会は
11月24日（木）12月7日（水）